

広報 あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 No.148号

町の人口

(8月末日現在)

男	4,288人
女	4,764人
総人口	9,052人
世帯数	2,762世帯

〔訪中〕私の見た中国

花田優子

「ホワンイエン、ホワンイエン(歓迎)」私達の着くところ必ず「ホワンイエン、ホワンイエン」の熱れつな歓迎をうける。私もこの歓迎に何とか応えようと、「ニイ、メン、ハオ」(皆さんこ

んにちは)を連発する。この歓迎の渦の中、過去における侵略戦争のあった事実が胸中をはしるとともに私達日本人を心から歓迎してくれるのだろうか、彼らの顔をのぞきこむ。しかしそ

こにあるのは明るい彼らの笑顔だけです。

このような歓迎の中、私たち15班は上海においては工場、人民公社、幼稚園、少年宮などを見学し、また北京、天津においては専門学校、工事現場、幼稚園などを見学し、この間、万里の長城、故宮の見学もあった。

これらの見学の中で、現代の中国人が社会主義建設のために、いかに努力しているかを、彼らの輝く目と生き生きとした表情の中に見ることができた。中国の教育において理論と実践とが完全に結びついていることを

強く感じた。

というのは私達は、鉄路工程学校という信号、長距離通信、建築等分野の専門学校を見学したのですが、この学生は理論を学ぶだけでなく、その理論によって実際に機械を製作し、完成された機械は実社会に彼ら自身の手で、取り付けられているということ。

また北京において私たち15班の接待員の劉さんは、外国語学校で日本語を勉強中の17才の少女であったこと。また少年宮において学んだ知識は自分だけの知識として留めず、学校教育において他の仲間教えなければならぬことなどからです。

また学校制度についても、中学または高校を卒業しても、ある期間、肉体労働をしなければ大学へ進むことはできないのです。「労働者に学ぶ」という社会教育の一つの形ではないかと思えます。

また人民公社や、一般家庭を訪問して感じることは、まだまだ中国人民の生活は貧しいということです。

しかし、どこへ行っても聞かされるのは、旧社会において彼らがいかに貧しく苦しい生活を強いられてきたか、そして現社会においていかに幸せに感じて生活しているかということです。

二面へつづく



とじて保存して下さい。